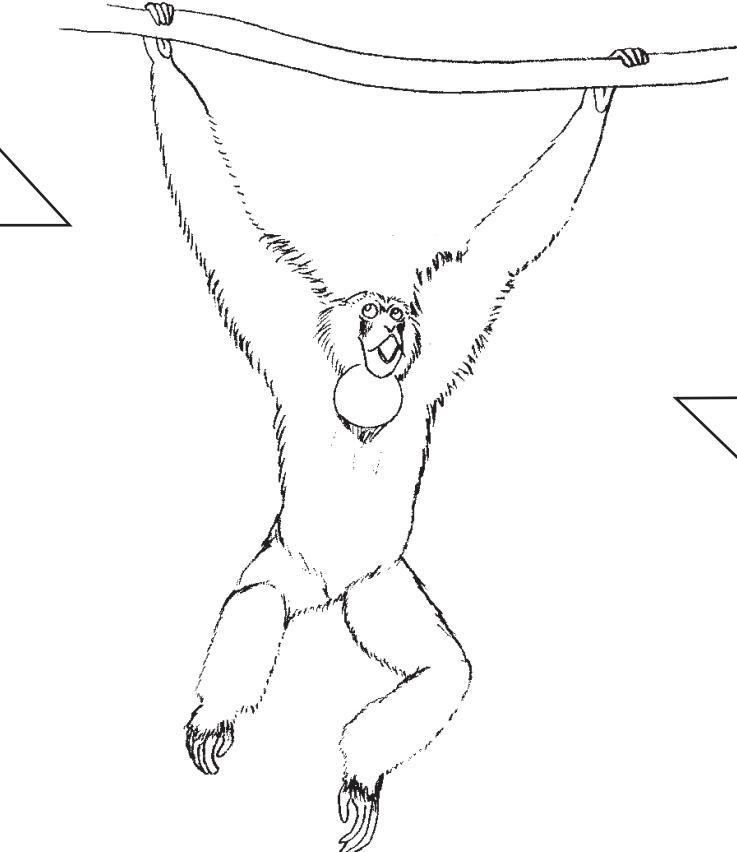


# フクロテナガザルのかんさつシート

かんさつ  
フクロテナガザルを観察して、どんなところにすんでいるのか、推理してみよう。

## 行動をかんさつ！

- み  
見られたものに○をしよう
- ( ) ぶらさがっている
  - ( ) 腕わたり（ブラキエーション）をしている
  - ( ) 地面におりている
  - ( ) 2本足で歩いている
  - ( ) エサを食べている
  - ( ) 寝ている
  - ( ) うんちをした
  - ( ) おしつこをした
  - ( ) 鉄棒の上を歩いている
  - ( ) のど袋をふくらませて、鳴いている
  - ( ) 毛づくろいをしている
  - ( ) 物をつかんでいる
  - ( ) その他



はっけん  
発見したこと

かんが  
どんなところにすんでいるか、考えてみよう！

な  
ごえ  
どんな鳴き声？

## 前肢と後ろ肢を比べてみよう！

- まえあし うし あし ぐら  
・長いのはどっち？  
なが まえあし うし あし  
前肢 前肢 後ろ肢
- つか  
・よく使っているのはどっち？  
まえあし うし あし  
前肢 前肢 後ろ肢
- た  
・その他、発見したことは？  
はっけん

に どうぶつ さが  
似ている動物を探そう！

まえあし  
前肢でぶらさがる動物

たか ところ いどう どうぶつ  
高い所を移動する動物

がっこうめい  
学校名

なまえ  
名前

# 先生用 フクロテナガザルのかんさつシートと解説

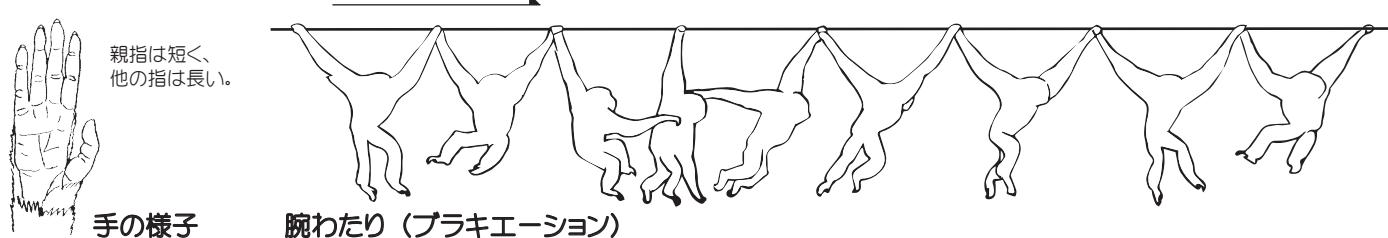
ワークシートの  
ねらい フクロテナガザルの行動観察を通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、  
その動物の生活や生態を想像したり、洞察力を高めるきっかけとする。

## フクロテナガザル 灵長目テナガザル科

- スマトラ島やマレー半島南部の熱帯雨林で、1頭のオス、1頭のメス、子どもからなる群れで暮らしています。
- 主に、イチジクなどの果実や木の実、木の葉や花などの植物を食べていますが、昆虫、小鳥、小動物なども食べます。動物公園では、バナナやリンゴ、キャベツ、ニンジン、サツマイモなどをあげています。
- 樹上生活をしており、長い腕で腕わたり（プラキエーション）をして、移動します。地上よりも樹上での動きの方がかなり機敏に行動することができます。
- 地上では、腕を左右に上げてバランスをとるようにして、後ろ肢だけで歩きます。
- テナガザルの仲間の中では最大の種です。

### ■ 樹上生活に適したからだ

樹上で生活しているので、両腕の筋肉がよく発達しています。木の枝などをつかみやすいように親指は短く、ほかの4本は細長く、掌も細長くなっています。足の長さに比べて、腕がとても長いという特徴があります。腕の長さは足の長さの約1.5倍の長さがあります。長い腕を活かして、ぶらさがりながら、枝から枝へと腕わたり（プラキエーション）をし、森林の中でも効率よく移動することができます。



### ■ 大きな鳴き声とのど袋

フクロテナガザルののどには、大きく膨らむのど袋があります。これにより、大きな鳴き声で鳴くことができ、他の群れに対してなわばりを主張したり、お互いの居場所を伝え合い、群れ間の出会いや争いを避けています。この声は、気温や風向きなどの条件により異なりますが、1.5km先まで聞こえ、コミュニケーションをとる役割を果たしています。

動物公園でも開園直後や夕方、子どもの高い声に反応して鳴きはじめることが多く、展示場から離れたところでも鳴き声を耳にすることができます。どこまで聞こえるか試してみてください。



### \* 飼育員のコラム 『動物たちの行動を引き出す展示場の工夫』\*

フクロテナガザルは、野生では樹林のなかで長い腕を使い腕渡り（プラキエーション）をして移動しながら生活をしています。千葉市動物公園では腕渡りを再現するために一周約40メートルのループ状にした金属製の雲梯が設置しています。また、自然木の代わりに電信柱を3本立て、そこに至るルートを腕渡りで移動出来るように、廃材の消防ホースで繋ぐ工夫がしてあります。毎日、オス（ブレイブ）とメス（ハート）の2頭のフクロテナガザルが元気にループ状の雲梯を使って鳴きながら腕渡りをしている姿が観察できると思います。

